

読み書き障害のある子どもの基礎理解と関わり方について

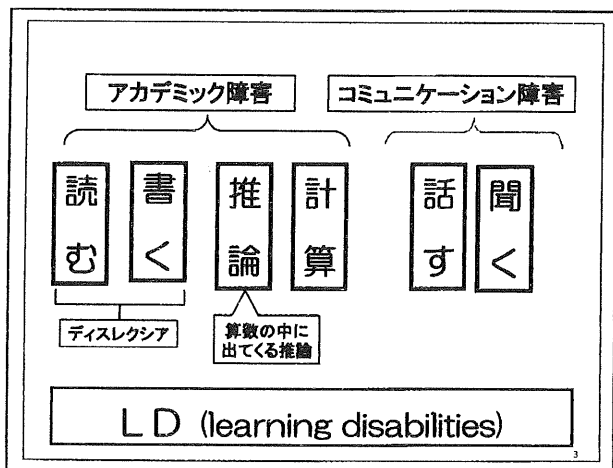
大阪教育大学名誉教授
大阪医科大学LDセンター顧問
竹田契一
(西岡 有香 大阪医科大学LDセンター)

1

LDの教育定義(1999)

- LDとは、基本的には全般的な知的発達に遅れはないが、聞く、話す、読む、書く、計算するまたは推論する能力のうち特定のものの習得と使用に著しい困難を示す様々な状態を指すものである。
- LDは、その原因として、中枢神経系に何らかの機能障害があると推定されるが、視覚障害、聴覚障害、知的障害、情緒障害などの障害や、環境的な要因が直接の原因となるものではない。

2



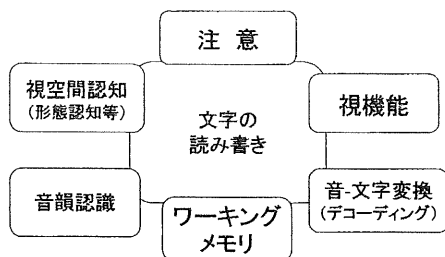
3



読み書き障害の理解

4

文字の読み書きに関する認知機能



5

読みに関連のある認知能力

<聴覚>

- 音韻認識力: ことばを聞いて、音に分解する力・イントネーションや音の拍数を瞬間的に把握する力
 - 検査(音の分解・抽出・削除、単語逆唱)
- デコーディング: 目で見た情報をすばやく音声に変える力
 - RAN課題

<視覚>

- 形態認知: 文字(形)を正確に見分ける力
- 眼球運動: 単語のまとまりを効率よく捉える力

<ワーキングメモリ>

- 短い時間、情報を保持し同時に操作する力

6

読み書き障害の状態

<読む>

- ことばや文を見て、正しく読めない
- 1文字ずつたどって読む(時間がかかる・流暢でない)
- 文字や語尾の読み間違いが多い
- 拗音(ゃ・ゅ・ょ)の入ったことばや、特殊音節(っ、-い、-う)が正しく読めない
- 漢字や熟語が正しく読めない

<書く> * 読みのつまずきにより、書けない。

- 書こうとしても、文字が思い出せない。(音~~×~~文字)
- 拗音や特殊音節を書き間違える
- 助詞(は、へ、を)を正しく書き分けられない
- 漢字の送りなが正しく書けない

<書く>

- 文字の形が正しく思い出せない、似た形同士を書き間違える
- 文字のパーツ(“へん”と“つくり”)の位置や向きを間違える

7

読み書き障害 (ディスレクシア)

- 読み書き障害は、神経生物学的原因に起因する特異的障害である
- 基本的特徴: 文字や単語の音読・書字に関する正確性や流暢性の困難
- 音韻情報処理過程や視覚情報処理過程などの障害による
- 二次的に“読む機会”が少なくなる結果、語彙の発達や背景となる知識の増大を妨げる

国際読み書き障害協会(2003)の定義に沿った日本版(2006, 宇野ら)

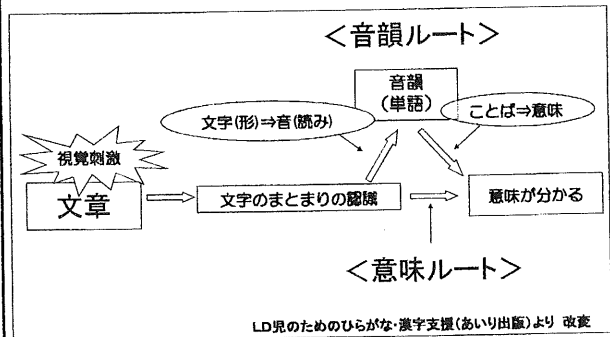
8

就学前にみられる特性

- 似た音の聞き間違い・言い間違いが多い
例) くだ、れんわ、よこう、てべり
- ことばを話す時、語順が入れ替わったり省略されたりする 例) とうころもし、おじやまたくし
- “しりとり”や“さかさまことば”など、「ことば遊び」に楽しく参加できない
- 文字に興味を示す時期が遅い

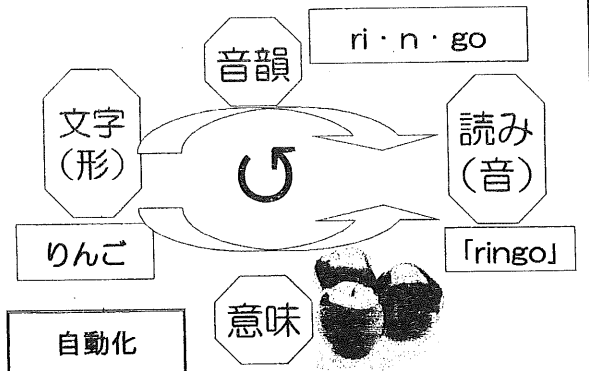
9

文字を読むプロセス



10

スムーズな読みの獲得



11

文字が二重にダブって見える

文字が二重にダブって見える

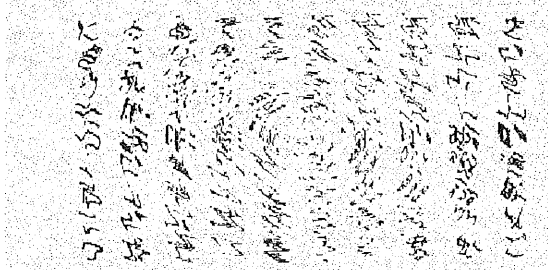
幸ひ善先以善海明
世俗正比善善善明
世俗正比善善善明
世俗正比善善善明
世俗正比善善善明
世俗正比善善善明
世俗正比善善善明
世俗正比善善善明
世俗正比善善善明
世俗正比善善善明

(「怠けてなんかない! ディスレクシア〜読む・書く・記憶するのが困難なLDの子どもたち」 品川裕香 岩崎書店)

12

文字がゆがんで見える

文字がゆがんで見える

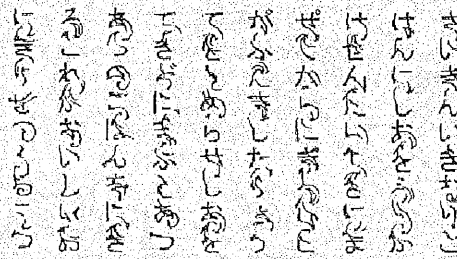


（「急げてなんかない！ディスレクシア～読む・書く・記憶するのが困難なLDの子どもたち」品川裕香 岩崎書店）

13

一部の文字が動いているように見える

一部の文字が動いているように見える



（「急げてなんかない！ディスレクシア～読む・書く・記憶するのが困難なLDの子どもたち」品川裕香 岩崎書店）

14

「読む」ことにつまずき

視覚認知からくる困難さ

目で見たものを形や色などでとらえて、判断したり、識別したり、意味づけたりすることができにくい



視力の障害ではない

15

「読む」ことにつまずくと……？

- たどたどしい読み方
- 特殊音節が正しく音読できない
- 文字や行をとばして読む
- よく似た文字を読み間違ふ

読んだ結果としての
情報取得に結びつかない

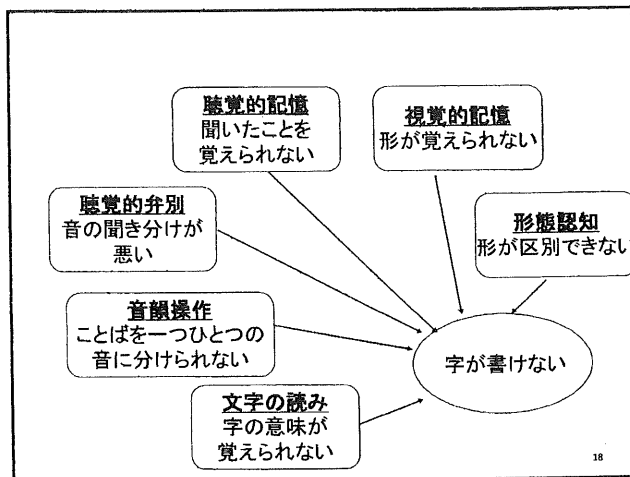
— 教科書・テストなど読まなければわからないものでの達成度↓

16

文字の様子・誤りに現れる

書きのつまずきの理解

17



18

「書く」ことにつまずき

視覚認知と空間認知の困難さ

視・聴覚や身体感覚で、前後・左右・奥行きなどの位置関係や方向、大小などの空間的な関係をとらえることの弱さ



目と手の協応動作にも関係

19

「書く」ことにつまずくと……？

- 鏡文字になる
- 書いたとき、線や点が足りなかったり、多かったりする
- 写生や図形の模写ができてにくい
- 文字がばらばらになってしまう
- 文字のバランスが悪い

書いて情報を伝えることが効率よくできない

- テストやレポート、作文をしあげるのに、非常な努力が必要で、時間がかかる
- 情報を正確に伝えられない
- よい印象を得ることができない

20

「運動」のつまずき

・「不器用」

体の動きがぎこちない

縄跳び、ボール運動が苦手

手先を使った細かい作業が苦手



身体イメージの弱さ

体の動かし方が分からない

21

関わりかた＝支援の方法

22

具体的な支援とは

- 読みスキルそのものを高める支援

+ 語彙力・表現力の向上



場所：個別支援の場

教材：個に合ったレベル
(『読み』の獲得を目標に単語・短文から)

- 通常学級の学習を理解するための支援

+ 自尊心・意欲を高める



場所：集団学習の場

教材：学年と同じ物

- * 『読み』の負担軽減
- * 理解を助ける

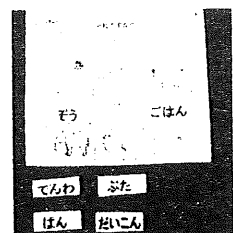
連携

23

文字の読み書きを育てる支援

- 文字を読み、意味のある単語として捉える練習

- * 子どもが文字を見て、すぐに読みが思い出せない場合は、すぐに正しい読みを聞かせ、文字と一致させる)

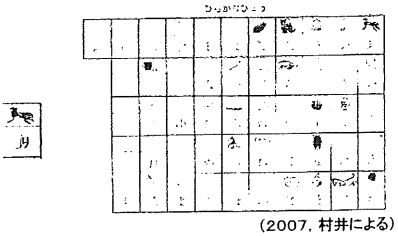


葛西ことばのテーブル「ひらがな読解ワーク」

24

文字の読み書きの支援

- 絵と文字を対応させて文字読み習得を支える
 - 覚えにくい文字列や音節を整理して教える
- なじみの深いことばの絵を使ったカード・表の利用



25

短文読みの練習①

- 意味(ことば)のまとまりを意識できる援助

土
の
中
よ
う
虫
ヤ
ミ

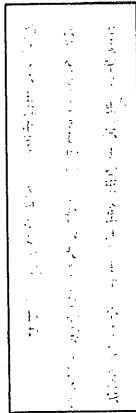
* 文中に出てくることばを抜き出し、読ませる
⇒どんな内容か推論させる

土の中で生活します。
セミのよう虫は、

26

短文読みの練習②

- 意味(ことば)のまとまりが捉えやすいように加工した文章で、練習する
- 読めない漢字には読みがなを書いておく
- 大人と交代で読む
- 大人と一緒に読む



27

特殊音節について

- 拗音...1音に2文字(清音+や・ゆ・よ)
音の操作(分解・混成)を元にした読み書き
- 促音...音のない拍を認識⇒無音部に「っ」
- 長音...音が伸びている拍を認識
⇒長音部に「あ・い・う・え・お」
「センセエ」⇒せんせい、「コオエン」⇒こうえん
例外:とおい、おおい、おおかみ、こおりetc.

28

音韻認識を支えながら練習

- ことばをよく聞いて、音の並びや拍数、音のすきまを認識する練習
⇒視覚的な援助を!

<音の部屋>

1	2	3	4	5	6

29

わくわくプリントー5 「いくつかのおとかな(つまるおと)」

30

わくわくプリント-9「ねじれるおとどれだ?1」

あ	じ	で	○	こ	○	○	○
か	○	ん	や	う	や	や	や
○	や	○	ん	○	わ	し	べ
や	く	や	ぶ	や	ん	ん	つ
ん							

31

「ボ-シ」

○
↓
ほ・の・し

- * 特殊音節・拗音の練習 (よく聴かせて、表記ルールと一致させる)
- * 意味のあることばで“読む”練習 (文字-音変換)
- * 好きな話題の短文(加工)を、意味を意識して読む練習

32

漢字読みの支援

形と意味(絵)を結びつけて
読み(訓読み)を覚える

乗	板	氷
のりま	いた	こおり
乗馬	板	氷

かがわ出版「意味からおぼえる漢字イラストカード(3年上)」 35

同じ部首で漢字を集めるカテゴリ学習

同じ部首の漢字をたくさん集める

てへん 投げる・打つ 捨てる・拾う 指・持つ	ごんべん 読む・話す 語る・調べる・ 詩
---------------------------------	-------------------------------

34

書字のつまずき

あめ⇒ 雨

しょうがつ⇒ ?
正月

あか⇒ 赤

くさ⇒ 草

丁寧に書きたいのに、
文字の形が歪んだり
枠からはみだしたりする

35

書字獲得の支援

- 感覚-運動系の活用
- 線と線の重なり認識

粘土で文字を作る、砂に指で運筆する

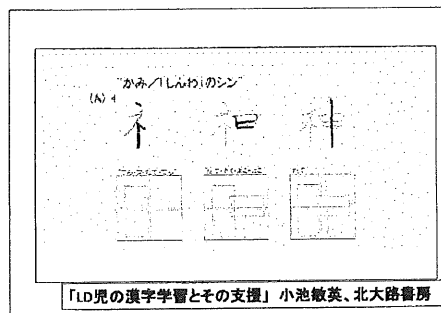
公文のひらがなカード 36

書字獲得の支援

- 強い情報処理回路の活用
例えば・・・◎言語能力・言語記憶力/×視覚認知
☆音声化しながら文字を書く
め⇒「×ばってんに、くるっ！」
引く⇒「弓の横に矢が1本(1)、ぐっと引っぱり・・・」
学研「漢字九九」より
- 画要素に注目
少⇒「たてはね、斜め、てん、斜め」

37

筆順を分かりやすく提示



「LD児の漢字学習とその支援」小池敏英、北大路書房

38

漢字学習：読みと書きの目標を分ける

- 漢字を見て「意味が分かること」
 - 漢字を見て「読めること(訓読み>音読み)」
 - 文脈に合った漢字を「書けること」
⇒“読めて意味が分かる”漢字を増やす
- 例)①歩道⇒「人があるくみちのこと、かな？」
②車は車道を走り、人は歩道を歩きます。
③ぼくは、大また(ある)きで、5(は)すすみました。

39

合併する課題のある子ども

行動面に課題をもつ子ども

- ☆AD/HD
- ☆広汎性発達障害(自閉症スペクトラム)



学習(読み書き・読解・計算...)への影響

40

先取り学習

<個別指導の場・家庭で>

- 次の単元に出てくることば(熟語・漢字)の読み・意味を予習
- 次に新しく習う領域を大人が読み聞かせ、登場人物や話の筋など、内容を理解しておく
- 漢字の読みは学年にかかわらず、先どりして教える(書字は1・2年あとに再確認でもOK)

41

支援の方法 まとめ①

- 個別に、学習に関する評価(アセスメント)が重要
 - つまずきの背景にある認知の特性は何か?
 - 読み書きのどの段階つまずいているか?
 - 優先課題は何か?
- ⇒具体的支援につながる
- 例)聴覚や音韻系の処理が苦手?
視知覚や運動(書字)の負担もある??
理解できることばのレベルはどれくらい?

42

支援の方法 まとめ②

- ・「個別の指導」も「集団での配慮」も両方必要
- ・ボトムアップ⇒トップダウンの切り替え時期
 - 読み書きの負担を軽減できる学習ツールの提案
 - デイジー (DAISY: Digital Accessible Information System) の利用
 - パソコン入カスキル獲得
 - 読み上げソフトの利用

43

大学入試改革 23年度よりLDへの特別配慮

しかし
LDで試験時間延長は10名以下

44

大学入試センター試験 受験者特別措置

対象
自閉症、アスペルガー症候群、
広汎性発達障害学習障害、注意
欠陥多動性障害のため特別な措
置を必要とする者

	チェック 解答	その他
H23	14	81
H24	23	112
H25	35	115

- ・措置の事例
 - 試験時間の延長(1.3倍)
 - チェック解答
 - 拡大文字問題冊子の配布(一般問題冊子と併用)
 - 注意事項等の文書による伝達
 - 別室の設定
 - 試験室入口までの付添者の同伴

45

LD児のため入試問題の代読

- ・奈良県立高校の入試で、問題文の代読申請を認める決定
- ・中学校の試験で代読を受けてきた実績を評価(中学校が高校に提出する内申書にも、代読で行った定期考査の結果が反映されていたため)
- ・用紙はA4からB4へ拡大
- ・東京都、神奈川県は中学校で行われている支援を高校の入学試験で実施する

46

LD児のため入試問題の代読

- ・奈良県立高校の入試で、問題文の代読申請を認める決定
- ・中学校の試験で代読を受けてきた実績を評価(中学校が高校に提出する内申書にも、代読で行った定期考査の結果が反映されていたため)
- ・用紙はA4からB4へ拡大
- ・東京都、神奈川県は中学校で行われている支援を高校の入学試験で実施する

47

7年目の特別支援教育

1. 特別支援教育コーディネーターは機能しているのか
2. 実態把握 最低6.5%いるか(学年により異なる)
3. 校内委員会は機能しているか(校務分掌)
4. 個別の教育支援計画・個別の指導計画の作成と実施のレベルは
5. 子どもの行動面のみが特別支援ではない
「学力を伸ばすこと」が最終目標
6. 専門家チーム、巡回相談システムは機能しているか

48